

# 国高旋風



国立高校野球部の10月（マネージャーより）「自分たちに出来ること」



新チーム発足から約3ヶ月。選手一人一人の殻が破け始めたのか、練習中の雰囲気格段に明るくなったように感じます。1、2年の仲もグッと深まり、練習中だけでなく私生活でも交流する様子が伺えるようになりました。部員間の信頼関係が深まると、気になることが出てきたときに躊躇わずに指摘し合えるようになったり、試合における連携プレーの質が高まったりとメリットがたくさんあります。しかし、その反面「仲間」ではなく「友達」のような関係になってしまうと指摘することに罪悪感のようなものが生まれ、かえって部員間の繋がりに問題点を作ってしまうかもしれません。これから先、厳しい冬を共に支え合って過ごしていく選手やマネージャー、そして先生方とのつながり方がオフシーズン明けの試合の結果に影響を及ぼすことは間違いありません。他の学校に比べて練習できる時間が短い分、小さなことでも勝利に向けて出来ることを探しながら取り組んでいきます！